

# PL-FF210

## 取扱説明書

PL-FF210(フラッシュファイルディスクユニット)は(株)デジタル製  
パネルコンピュータ(以下PLと称します)用のフラッシュファイル  
ディスクです。

対応機種: PL-5900 シリーズ、PL-X900 シリーズ、PL-X920 シリーズ  
下記のほか、本書に記載の商品名は、各社の商標・登録商標です。

Proface:(株)デジタル

MS-DOS: 米国Microsoft社



### 警告 安全に関する使用上の注意

- ・ PLへの取り付け時は感電の危険性がありますので、PLに電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- ・ PL-FF210は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ PL-FF210を取り付ける際には、本書の「3.PL-FF210の着脱」をよく読んで、正しく取り付けてください。

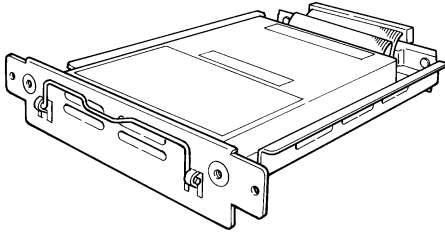
#### 故障しないために

- ・ PL-FF210に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 腐食性ガスの発生する環境では保管および使用しないでください。
- ・ 電源OFF後の電源再投入は、5秒以上経過した後行ってください。
- ・ 修理や改造を行わないでください。
- ・ ファイル破損を防ぐため、必ず正しい手順でOSを終了してからコンピュータの電源を切るようにしてください。

## 梱包内容

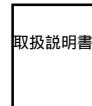
梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-FF210 本体



取扱説明書 1枚（本書）

PL-FF210 取扱説明書



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

## 1

## ハードウェア仕様

## 性能仕様

総記憶容量	32Mバイト
セクタ容量	512バイト/セクタ
消費電力	起動時 0.23W(TYP) R/W時 0.20/0.23W(TYP) 待機時 0.01W(TYP)
インターフェイス	ATA-2(IDE)
フラッシュの書き込み /消去回数	300,000回
MTBF	2,000,000時間

## 環境仕様

使用周囲温度	0 ~ 50
保存周囲温度	-10 ~ +60
周囲湿度	30 ~ 85%RH(結露しないこと)
耐ノイズ (ノイズシミュレタによる)	ノイズ電圧：1500Vp-p パルス幅：50ns、500ns、1μs
静電耐圧	6kV
耐振動	動作時 19.6m/s <sup>2</sup> (10 ~ 25Hz)



- ・ PL 本体の仕様値も併せてご確認ください。
- ・ 書き込み寿命

通常フラッシュ EPROM チップには書き込みおよび消去回数に制限があります。よって、データの安全性・保全性に関する配慮(データのバックアップ)をする必要があります。書き込み回数の詳細が必要な場合は(株)デジタルサポートダイヤルまで、お問い合わせください。

月 ~ 金曜日 9:00AM ~ 5:00PM

東京 TEL(03)5821-1105

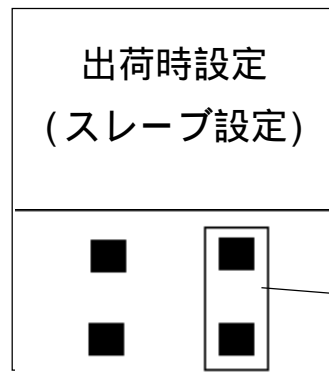
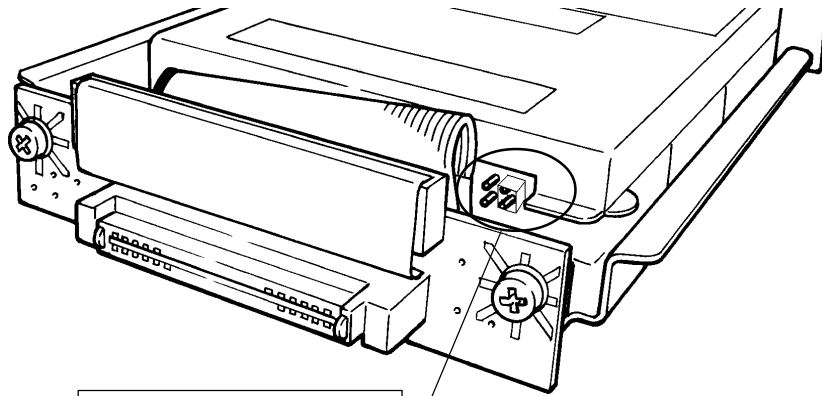
名古屋 TEL(052)932-4093

大阪 TEL(06)6613-3115

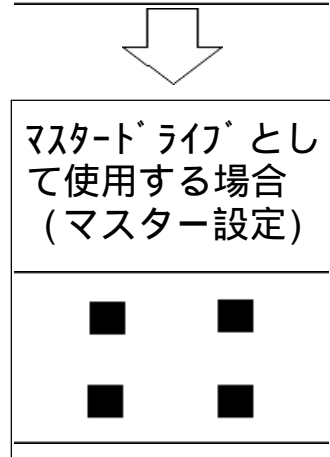
## 2 フラッシュファイルディスクユニットの設定

PL-FF210は出荷時スレーブ設定となっていますが、PL-FF210をマスタードライブとしてご使用の場合は、PL-FF210を以下のように設定してください。

<PL-FF210 本体のコネクタ正面図>



ジャンパープラグ



PL-FF210をマスタードライブとしてご使用の場合、左図のようにジャンパープラグを外してください。

- 重要**・ PL-5900 シリーズ、PL-X900 シリーズ、および PL-X920 シリーズに組み込まれて出荷されたハードディスク、およびフラッシュファイルディスクは、出荷時設定をマスターにしています。本ユニット(PL-FF210)とを併用してご使用の際には本ユニットをスレーブとして設定してください。
- ・ 上記以外のショートプラグの設定では使用しないでください。破損の原因となります。

## 3

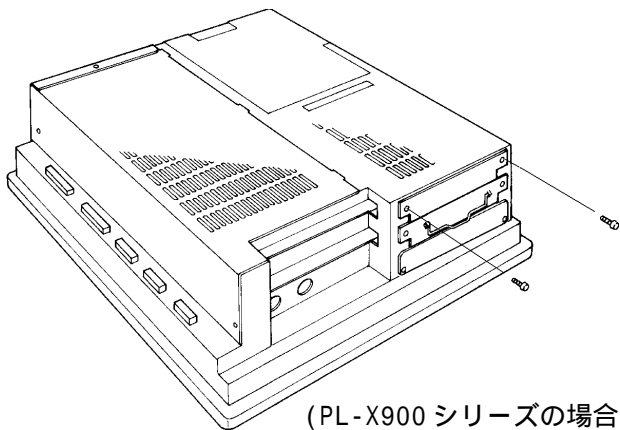
## PL-FF210 の着脱

以下の方法でPL-FF210をPLへ取り付けてください。なお、説明で使われている絵は、PL-X900シリーズですが、手順はPL-5900シリーズ、およびPL-X920シリーズも同様です。

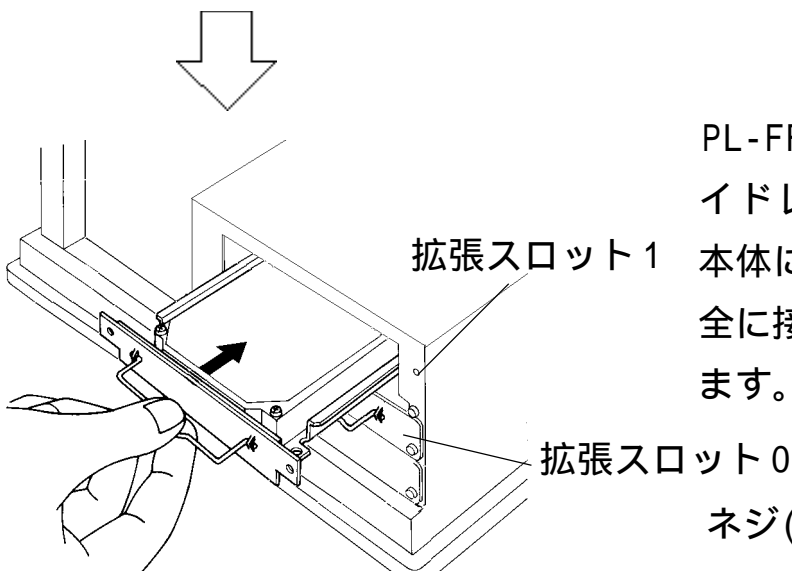


## 警告

- 感電の恐れがありますので、必ずPLの電源を切ってから作業を行ってください。



「拡張スロット1」のブランクパネル固定ネジ(2カ所)を外し、ブランクパネルを取り外します。



PL-FF210の取手を持ち、ガイドレールに沿うようにPL本体に挿入し、コネクタが完全に接続されるように挿入します。

ネジ(2カ所)で固定します。



・「拡張スロット0」への取り付けも、同様の手順で行います。

# ハードウェアセットアップ

**重要** ・通常は、出荷時設定(初期設定)で使用してください。



- ・以下の全説明画面は、出荷時設定(初期設定)画面です。
- ・BIOS画面はバージョンアップにより変更になる場合があります。

PL にキーボードを接続します。

PL の電源を ON します。

画面左下 "Press <DEL> to Enter SETUP" のメッセージが表示されたら、[DEL]キーを押し続けます。

セットアップユーティリティが起動します。メニューより "STANDARD COMS SETUP" 画面を選択してください。以下の画面が表示されます。

## PL-X900 シリーズの場合

```

ROM PCI/ISA BIOS(2A5LEU1C)
STANDARD CMOS SETUP
AWARD SOFTWARE, INC.

Date (mm:dd:yy): Wed, Jul 2 1998

Time (hh:mm:ss): 14 : 50 : 3

          CYLS.HEADS  PRECOMP  LANDZONE  SECTORS  MODE
Drive C:Auto( 0b)  0    0    0    0    0    AUTO
Drive D:Auto( 0b)  0    0    0    0    0    AUTO

Drive A:1.44M,3.5 in.

Video :  EGA/VGA
VGA_Text Mode:Normal
Halt On : All, But Keyboard

Base Memory : 640K
Extended Memory:31744K
Other Memory : 384K

Total Memory :32768K

ESC : Quit          : Select Item  PU/PD/+/-:  Modify
F1  : Help          (Shift)F2 : Change Color

```

### キー操作一覧

セットアップで使用するキーの一覧です。

### ヘルプ表示エリア

カーソルを合わせた項目の詳細が表示されます。

### システム設定エリア

各メニューで設定するシステム項目が表示されます。

Drive C/Drive D 共に [ Auto ] が選択されているか確認してください。[ Auto ] が選択されていますと起動時にディスクのパラメータを読み取って自動的に設定されます。  
 [ Auto ] が選択されていない場合は、[ Auto ] を選択してください。出荷時の設定は [ Auto ] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。  
 (ハードディスクと併用の場合。)

[ESC]キーを押して[SAVE&EXIT SETUP]を選択し、保存終了してください。

## PL-5900/PL-X920 シリーズの場合

PL にキーボードを接続します。

PL の電源を ON します。

画面左下 "Press <DEL> to Enter SETUP" のメッセージが表示されたら、[DEL]キーを押し続けます。セットアップユーティリティが起動します。メニューより「Standard COMS Setup」画面にて IDE Primary Master、または IDE Primary Slave を選択してください。以下の画面が表示されます。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software		Item Help
IDE Primary Master		
IDE HDD Auto-Detection	Press Enter	
IDE Primary Master	Auto	Menu Level ▶▶  To auto-detect the HDD's size, head...on this channel
Access Mode	Auto	
Capacity	10056 MB	
Cylinder	19485	
Head	16	
Precomp	0	
Landing Zone	19484	
Sector	63	
: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1:		
General Help F5: Previous Values F6: Fail-Safe Defaults F7: Optimized Defaults		

IDE Primary Master/IDE Primary Slave 共に [ Auto ] が選択されているか確認してください。[ Auto ] が選択されていますと起動時にディスクのパラメータを読み取って自動的に設定されます。[ Auto ] が選択されていない場合は、[ Auto ] を選択してください。出荷時の設定は [ Auto ] です。通常、出荷時の設定でご使用ください。  
(ハードディスクと併用の場合。)

[ESC]キーを押して[Save & EXIT Setup]を選択し、保存終了してください。

## 5 ソフトウェアセットアップ

ハードウェアセットアップの後、実際にフラッシュファイルディスクにデータや、アプリケーションを記録する為には、使用するオペレーティングシステム（MS-DOS<sup>®</sup>等）でパーティション（記録区画）の作成とフォーマット（初期化）が必要です。ご使用になるオペレーティングシステムの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

### お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害および免失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### 株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

TEL：（06）6613-1101（代）

FAX：（06）6613-5888

URL： <http://www.proface.co.jp/>